1（1/2）

受付
6－8.26
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和６年　８月　２６日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　小野田直美

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	６０分	受 付	8月26日　（午前）／午後 8 時35 分
発言の種類	（一般質問）・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　災害時の指定避難所等のトイレについて（南海トラフ地震を想定）

８月８日、日向灘を震源とする最大震度６弱の地震に伴い、「巨大地震注意」の南海トラフ地震臨時情報が発表された。マスコミがこぞってこれを取り上げたことで、人々は急いで水や食料の備蓄をし、携帯トイレや簡易トイレにも手を伸ばした。電気、水道（給水）、下水（排水）の内どれ一つが使えなくても、水洗トイレは不全になってしまう。熊本地震では発災後３時間以内に約４０％の人がトイレに行きたくなったと答えたように、トイレは待ったなしであり、指定避難所では水や食料より先にトイレ対応が必要になる。トイレが不衛生になると、行くのを控えるために水や食事をとらず、低栄養になったり脱水症状やエコノミークラス症候群になる可能性がある。避難生活での健康を大きく左右する「トイレ」について、実際に起こるであろう事態を想定し準備する必要があると考え、以下伺う。

（１）避難所担当職員と施設管理者が発災後に行う指定避難所開設の手順は。

（２）トイレの使用前点検の手順は。

（３）公共下水と農業集落排水及び合併浄化槽を使っている指定避難所があるが、それぞれの特徴と災害時の点検方法及びトイレ使用に際しての注意点は。

（４）マンホールトイレの設置状況は。

（５）仮設トイレの設置についての対策は。

（６）下水管のつまり改善やマンホールトイレ及び仮設トイレの汲み取りについて、業者とはどのような協定を結んでいるのか。

（７）トイレの衛生管理に関する備蓄状況は。

2　終活支援ついて

全国的に１人で暮らす高齢者の数が増加している。その中には、子や孫がいなかったり親戚との付き合いがないなどの理由で、自分がいなくなった後を託す人がな

1(2/2)

いために、葬儀やその後の事務、残った家の片付けなどについて心配している高齢者もいらっしゃるのではないか。そこで、今後も増えるであろうこのような一人暮らしの高齢者支援について伺う。

（１）本市の一人暮らしの高齢者数について、１０年前と現在の変化（比率）は。

（２）新城市社会福祉協議会が行っている「あんきにしんしろサポート事業」についての見解は。

2（1/1）

受付
6-8.26
新城市議会事務局

発 言 通 告 書

令和　６年　８月２６日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　小林　秀徳

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	３０　　分	受 付	8月26日　（午前）/午後 8 時 40分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

１　「空家等対策の推進に関する特別措置法」における対策及び施策について

ここ数年、空き家における取組については課題も多く、対策について様々な取組が求められている。本市においても、今後は空き家の増加が懸念されると見込まれる中、国においても令和５年に「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正が行われ、さらなる適正管理が求められている。そこで、関係法令に基づき本市の実情と対策について以下伺う。

（１）空家等対策の推進に関する特別措置法改正法の理解について、本市の考えを伺う。

（２）空家等対策の推進に関する特別措置法改正法による本市の現場に係る影響等について伺う。

（３）本市の空き家の推移について、どのように分析しているか伺う。

（４）分析より、これまで行ってきた対策として実施した施策と、その効果について伺う。

（５）現状における空き家の利活用について、法的な問題点及び対策に向けての考え方、方針について伺う。

（６）空き家バンクの登録・相談業務について、登録件数など問題点及び現在進めている窓口での状況及び今後の施策について伺う。

3 (1/1)

受付 6-8.26 新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6年　8月26日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　佐　宗　龍　俊

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受 付	8月26日　午前／午後 8時42分（午前に○印）
発言の種類	一般質問（○印）・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表後の対応について

８月８日１６時４３分ごろ、日向灘を震源とする最大震度６弱、マグニチュード７．１の地震が発生し、同日１９時１５分に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された。南海トラフ地震臨時情報の発表は初めてのことであり、これを見聞きした市民は驚くとともに、今自分が何をすれば良いかを考えたのではないか。今回は８日の地震発生後一週間が経過し、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すような地震活動や地殻変動は観測されないことから、８月１５日１７時をもって、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表に伴う政府としての特別な注意の呼びかけの終了が発表されたので一安心したところであるが、そのような中で、今回の市の対応や市民の行動等を確認することで、今後本当に南海トラフ巨大地震が発生する時の臨時情報発表後の対応が、より適切にできるようにするために、以下伺う。

（１）「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表以降の市（主に災害対策本部及び本庁・支所関係）の対応は。

（２）消防本部、消防団、市民病院、小中学校、こども園の対応は。

（３）市民からの問い合せや、市民の行動に関する情報はどのようなものがあったか。

（４）市民が自らの命を守るための事前準備として、５月に配布された「洪水・土砂災害ハザードマップ」の活用も一つの重要な取り組みであると考えるが、配布以降どれだけの市民が有効に活用していると認識し、どのように活用を推進していく予定なのか。また、地震災害に関する同様資料の作成はしないのか。

（５）南海トラフ地震臨時情報の発表以降、市が議会及び議員に求めるものは。

（６）今回の反省点及び今後に向けた課題は。

4(1/2)

受付 6-8.26 新城市議会事務局

発言通告書

令和　6年　8月26日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　山口洋一

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受付	8月26日　午前／午後 9時37分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設について

新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設からの臭気発散問題に対し、令和6年6月定例会では、県・市の原因究明や改善措置等に関する一部の質問に対して、市長側から明確な回答が無く、臭気発散状況は依然として解消がされないことから以下伺う。

(1) 臭気問題は市に権限移譲したことから県は関与しないということか。
(2) 設備の経年劣化による機械設備等の修繕・更新・廃棄の実態は。
(3) 施設周辺の草刈りなどの環境整備の状況は。

2　令和5年度の市長マニフェスト取組状況報告書から以下伺う。

（1）やや遅延が上期から増えた要因分析と、令和6年度上期の取組状況は。
　ア　1-⑤　上期　やや遅延　地域住民とのつながりを大切にする職員育成。
　イ　1－⑥　上期　遅延　歳出の抑制と市債の削減に取り組み、基金の積み増し。
　ウ　2－⑤　上期　ほぼ順調　外国籍の方に優しい多文化共生のまち。
　エ　3－④　上期　ほぼ順調　再生可能エネルギーによる自給自足電源で、災害に強いまちを創る
　オ　5－②　上期　やや遅延　新たな高収益作物の生産に向けた研究。
(2) 4－⑤　高等教育機関への進学を目指す生徒に対する奨学金制度の導入に取り組むについて、業務見直しとした経緯と今後の対策は。
(3) 5－⑧　再生可能エネルギーの普及を推進し、エネルギーの地産地消を進めるについて、ほぼ順調と後退とした要因と今後の対策は。

4（2/2）

3　豊橋新城スマートＩＣ（仮称）整備事業について

豊橋新城スマートＩＣ（仮称）整備事業については、令和３年８月６日に新規事業化が国土交通省から発表され、令和４年度には庁内プロジェクトチーム検討により８事業が提案され、八名地域協議会からも豊橋新城スマートＩＣ（仮称）周辺振興策に関する提案が提出された。令和５年度には市民・事業者意向アンケート並びに庁内課長級プロジェクトにて事業展開の可能性をまとめ、令和６年４月１６日から５月１７日までのパブリックコメントが行われ、令和６年６月２７日に公表された。

国土交通省の新規事業化発表から３年間、本市の豊橋新城スマートＩＣ（仮称）整備事業への取組について以下伺う。

（１）一般職員プロジェクトチーム検討結果の評価は。

（２）八名地域協議会からの提案に基づく詳細な庁内協議の内容は。

（３）課長級プロジェクトでの問題となる現状・法規制の可能性から具現化できる事業は。

（４）豊橋新城スマートＩＣ（仮称）周辺地域活性化構想（案）パブリックコメントに対し、「ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。」と記載があるが、参考とした詳細な内容は。

（５）令和６年５月１２日の工事安全祈願祭を経て豊橋側の工事が着手されたが、本市側の工事開始時期は。

5(1/2)

受付 6-8.26 新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6年　8月26日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　鈴　木　長　良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月26日　(午前)/午後 9時55分
発言の種類	(一般質問)・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　本市の認知症予防と対策について

長寿化や高齢化社会の進展により認知症の更なる拡大が懸念される一方で、その大半を占めるといわれるアルツハイマー病の極めて早期の変化を、血液で判別する先進的な研究や早期発見・早期治療に向けた各界の取組が日進月歩の勢いで進んでいる。認知症の人がより良い状態で、より長く元気に日々の暮らしを続けていくための取組について、以下伺う。

（1）認知症予防の取組について

ア　認知症の兆候を早期に発見する取組について

イ　認知症にならないための工夫や日常的な対策について

ウ　医師や医療機関への相談体制と受診促進について

（2）軽度認知障害（ＭＣＩ）について

厚生労働省は、２０２４年５月８日の認知症施策推進関係者会議において、２０４０年には認知症が約５８４万人、ＭＣＩが約６１３万人に上るとの見通しを示した。認知症とともに更なる拡大が懸念されるＭＣＩ抑制の取組について。

ア　直近５年間における本市の認知症と、ＭＣＩの人口の推移について

イ　軽度認知障害抑制の取組について

ウ　認知症と加齢性難聴に対する本市の認識について

2　水難事故防止の取組について

記録的猛暑と危険な暑さが続く中、全国各地で悲惨な水難事故が、連日に渡り報道されている。遊びに夢中になった小中学生が流されて川底で発見された事例や、溺れた幼児を助けた直後に自らが溺れて亡くなった母親の事例など、後を絶たない

5(2/2)

水難事故の防止に向けた本市の取組について、以下伺う。
（1）過去5年間における本市の水難事故の実態について
（2）水難事故防止の安全対策について
（3）各関連機関との連携について
　ア　小中学校と保護者
　イ　地域
　ウ　消防署・警察署

6（1/1）

受付
6-8.28
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6年　8月　28日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　竹　下　修　平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	8月28日　（午前）/午後　8時57分
発言の種類	（一般質問）本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　鳥獣害対策について

（1）鳥獣害対策に関する近年の取組状況は。

（2）猟友会の活動状況に対する市の認識は。

（3）農林水産省が手がける鳥獣被害防止総合対策交付金の中の支援策の1つである「ジビエ利用や焼却処分による捕獲活動支援の単価アップ」を活用すべきだと考えるが市の認識は。

（4）鳥獣害対策に対する今後の展望と人材確保の手立ては。

2　こども園の再編・整備について

（1）新城市こども園再編・整備計画の策定に至った経緯は。

（2）新城市こども園再編・整備計画の内容について、以下項目の詳細は。

ア　こども園の現状、課題

イ　新城市こども園整備指針（抜粋）

ウ　施設整備のポイント

エ　コスト比較

オ　再編・整備のスケジュール

カ　パブリックコメントへの対応

（3）千郷地区新設園について、現在の進捗状況と今後の進め方は。

7(1/2)

受付
6-8.28
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6年　8月　28日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　山　田　辰　也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受 付	8月28日　午前／(午後)　1時40分
発言の種類	(一般質問)・本会議質疑・委員会質疑・討論　　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　南海トラフ地震に対する本市の対応と安全確保の目標及び課題について
　いつ起きるか想定できないのは、誰もが認知している。行政のしっかりとした対応がなければ、不安は増すばかりであることから以下伺う。
（1）避難所と本市の災害に備える備品と備蓄の状況は。
（2）マンホールトイレの設置条件や方法、現在の設置状況は。
（3）ペット（犬猫）等の避難所への同伴の際の課題は。
（4）今回、防災行政無線放送で米及び飲料水等の備蓄品の確保の呼びかけがあったが、普段の注意喚起の方法は。
（5）避難者のトイレの対応や風呂等の生活用水の確保は。
（6）市内に点在する井戸の利活用及び市役所第２駐車場の手押しポンプ井戸の目的は。
（7）使用可能な学校のプールの災害時の活用は。
（8）避難所敷地に、今後、災害対応のため井戸を掘りたい希望があった場合の対応は。

2　本市における若者就労支援について
　専業農家を目指す若者の独立に関する物価高騰の影響と借入金の緩和政策は。

3　兼業農家への施策について
（1）地産地消の有機農業での小中規模稲作農家からの購入価格の支援は。
（2）小中規模農家から稲作をやめたい等、最近耳にするが、農機具なども含めて農地を無償や少額で譲りたい等の希望に応える本市の施策は。
（3）現役を退職してから農業に従事しようと考える人もいると思われるが、後継者の育成支援は。

4　新城市学校給食センターについて

9月から始まったばかりの新城市学校給食センターのスタート状況と配送計画について以下伺う。

（1）給食で使う有機米、有機野菜の流通計画と愛知東農業協同組合との協力体制及び進捗状況は。

（2）災害時や事故による通行止めの際、新城市学校給食センターの備蓄や配送計画は。

（3）見学コースの目的及び見学のスタート時期は。

（4）センター方式により以前の自校式給食と比較し節約できた費用額は。

8(1/2)

受付 6-8.29 新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　６年　８月　２９日

新城市議会議長　様

新城市議会議員 カークランド　陽　子

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受 付	8月29日　(午前)/午後 8時37分
発言の種類	(一般質問)・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		
発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。） 発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）			

1　学校給食について

事業の決定からその必要性など、これまでの過程においてさまざま疑問点が拭えず、いまだに市民からは残念であるとの声も聞こえてくる共同調理場建設事業。しかし多額の予算を使っての建設も完了し、９月から供用開始されている以上、その中身を、食育のみならず新城の農業施策などの点からもプラスとなるようなものにしていきたいという思いから、以下伺う。

（１）市産市消は現時点でどの程度導入しているのか、また今後導入していく計画か伺う。

（２）昨年末、学校給食に有機米導入を求める請願書が市議会にて採択され、また同請願者により今年５月に申請がなされた「千郷地域自治区地域活動交付金事業」においても、学校給食への提供を視野に入れた安定した有機米づくりのための事業への交付金支給が認められたが、給食への有機米やその他の有機栽培農産物導入に向けての現状と今後の予定は。

（３）学校給食の食材について事前に学校給食課から聞き取った内容から、以下伺う。

ア　調味料などは無添加のものを「少しだけ使用している」との回答だったが、どの調味料か。また、その他も今後、無添加のものに切り替える考えはあるか。

イ　塩は天然塩を使用していないということだが、今後、天然塩に切り替える考えはあるか。

ウ　パン食が月に３回あるということだが、国産小麦を使用したパンか。そうでない場合、今後、国産小麦または米食に切り替える考えはあるか。

エ　冷凍食品を月４５品、加工食品を月１４品程度使用しているということだが、主な内容は。

オ　遺伝子組み換え食品に関する本市の認識は。

カ　牛乳は月２０回提供しているということで毎食提供していると理解するが、今後、変える考えはあるか。

2　太陽光パネルについて

（1）災害時など破損した太陽光パネルの危険性について、現在どのように市民に周知を行っているか。

（2）太陽光パネルの設置により、新城の三宝である歴史（景観）、自然、人（住環境）に影響を及ぼしている場合があるが、対策は。

3　新型コロナワクチンについて

（1）過去のワクチンと比較すると過去最大の健康被害や死亡例が国から認定されていて、現在もその数は増え続けているが、市民への周知はされているか、伺う。

（2）１０月から開始される新型コロナワクチン接種事業だが、対象者へのお知らせはどのように行うか、また使用されるワクチンの種類を伺う。

4　鳳来ゆ～ゆ～ありいなについて

令和５年１２月の一般質問の際、施設の今後について、施設の存続、一部機能の廃止、または廃止のいずれかになるとの答弁があったが、その後の状況を伺う。

9(1/1)

受付
6-8.29
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　６年　８月２９日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　丸　山　隆　弘

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	６０分	受 付	8 月 29 日　（午前）／午後 8 時 42 分
発言の種類	（一般質問）・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　ＪＲ飯田線本長篠駅の今後の整備について

６月定例会一般質問に続き、ＪＲ飯田線本長篠駅の今後の整備方針を以下伺う。

（１）線路設備災害防止のための線路移設計画について
（２）駅舎の改築について
（３）乗車券類販売事業の窓口業務の継続及び施設整備について
（４）ＪＲ飯田線本長篠駅の利便性向上について

2　観光行政について

（１）来訪者の満足度及び観光事業者の経済効果を伺う。
（２）インバウンド戦略の状況について伺う。
（３）一般社団法人新城市観光協会との事業連携を伺う。

3　小中学校の教育環境について

（１）児童・生徒が減少している中、これまでの教育環境の取組内容と成果を伺う。
（２）今後も児童・生徒が著しく減少が進む中、教育環境の構築方針を伺う。

4　こども園の再編・整備計画について

園児数の減少及び施設の老朽化、保育士の負担軽減を含め、施設の再編・整備が急がれるが、今後の進め方を伺う。

10(1/2)

受付 6-8.29 新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6　年　8月　29日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　村田　康助

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受　付	8月29日　(午前)/午後　8時56分
発言の種類	(一般質問)・本会議質疑・委員会質疑・討論　　（該当に〇印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　地震災害復旧について

能登半島地震を考え、本市における災害復旧の考え方、また、今後の対策や課題について伺う。

（1）県、国との連携、救助要請は。
（2）被害者救護と病院の受け入れ体制は。
（3）食料などの供給体制は。
（4）道路寸断などによる孤立集落への対策は。
（5）自衛隊、警察など各地からの救援の受け入れ体制は。
（6）ボランティアの受け入れ対応は。
（7）仮設住宅の建設用地の確保は。

2　「こども誰でも通園制度」について

異次元の少子化対策として「こども未来戦略方針」が打ち出されているが、「こども誰でも通園制度」について伺う。

（1）本市の取組状況は。
（2）誰もが使用できるのか。
（3）開始時期は。

3　企業用地の確保について

（1）新規予定の計画は。
（2）愛知県企業庁など大規模な企業用地の計画は。

4　長篠橋の状況について

10 (2/2)

（１）損傷状況は。

（２）今後の方針について、地元への説明は。

11(1/2)

受付
6-8.29
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和　6年　8月　29日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　　柴田　賢治郎

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	8月29日	(午前)/午後 8 時 58 分
発言の種類	(一般質問)・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）			

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　一般社団法人新城市観光協会の在り方について
　先日、本市は花火大会があり、観光協会と打合せしていた市民が、途中から担当者と連絡が付かなかった。退職者、もしくは長期休暇となっているため、それ以上の打合せができなかった事を心配されていた。新体制になってから、退職者が続くことに不安を持つ市民がいる。

（1）一般社団法人となった新城市観光協会会員の満足度をどのように上げているのか、会員の利益を優先することなく、会員減少につながった場合、本市の介入があるのか伺う。

（2）本市に人事の介入があるのか伺う。

（3）下江市長となり令和５年６月に解散した新城市観光協会が一般社団法人となった。観光協会として民間の力を入れたのも早かった本市だったが、現状引継ぎができていない事を考えると、時期尚早ではないか。納税以外に市民負担を強いる結果となっていないか伺う。

2　インバウンド政策について

（1）外国人観光客へのガイディング講座 in 新城　事業の目的と今後の展開を伺う。

（2）文化庁の地域文化財総合活用推進事業を利用することによる、本市の効果を伺う。

3　ＤＭＯ施策の在り方について
　この地域のＤＭＯ施策を担う奥三河観光協議会の事務局長の退職によって、利用者の窓口が無くなったことに戸惑う市民がいる。数少ないＤＭＯ機能を持つ協会として、機能を発揮してほしい。

（1）本市のＤＭＯ施策、どれほどの参加者がおり、体系づくりが進んでいるのか伺う。

（2）スタンプラリー等、ソフト事業の実施について計画があるのか伺う。

11(2/2)

4　市民体育館建設もしくは市民スポーツ施設について

平成２７年度に市民体育館を解体した。そして、昨年、市民スポーツの受け皿であった青年の家体育室も廃止した。わたしも集約は理解する。しかし、平成２９年には「新城市総合体育館建設促進に関する陳情書」が提出している事や、施設廃止においても利用者の新しい施設の振り分けなどを必要としたことから市民のスポーツ環境の充実が望まれる。

（１）市の管轄で市民スポーツを実施する場所がどこにあり、これ以上の場所の集約があるのか伺う。

（２）小中学校体育施設スポーツ開放制度、また廃校体育施設開放の利用状況と問題点を伺う。

（３）ニュースポーツに対する施設整備について意向があるのか伺う。

12(1/2)

受付
6-8.29
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和６年　８月２９日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　　浅　尾　洋　平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	６０　分	受　付	8月29日　午前／午後　9時13分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

１　ＨＰＶワクチン（子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルスの感染を防ぐワクチン）の接種について

新城市のホームページでは、ＨＰＶの「積極的勧奨の再開について」というタイトルで、本市が令和４年４月から個別の勧奨を始めた経緯と現行制度の内容と手続き、対象者、キャッチアップ接種などが周知されている。一方、ＨＰＶワクチンの接種後の副反応と疑われる症状で苦しんでいる被害者の救済も国会で取り上げられている状況がある。当該ワクチンの公費負担の期限が今年９月末までと迫ったいま、対象となる方々へ正しい認識にもとづく接種のあり方を示したいという立場で、以下、伺う。

（１）ＨＰＶワクチン接種の概要（対象者、キャッチアップ接種、接種期間・回数など）と助成制度（助成額、手続きなど）を伺う。

（２）本ワクチンのメリットとデメリットを伺う。

（３）メリットとデメリットとの関係は、市ホームページに記載されている「令和３（２０２１）年１１月の専門家の会議で、あらためて安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められた」という点が重要になると考えるが、この説明について詳細を伺う。

（４）公費負担（無料接種）期限が過ぎて、任意接種（全額自己負担）の場合、接種を完了するには５万円～９万円の費用がかかると言われている。市としての周知について伺う。

２　新城市消防署の救急体制と新城市民病院の救急医療の充実について

市民から「新城市消防署の救急車が２台から１台に減らされたのではないか？」「救急搬送の時間が長くなっているのではないか？」という声が寄せられた。昨今の異常気象による大災害や高齢化による持病の悪化など本市の救急車の確保と救急搬送体制の充実は、市民の願いである。また新城市民病院での救急医療の充実も急務である。本市の救急体制と救急医療を守る立場で、以下、伺う。

（１）新城市消防署が管轄する救急車の台数、令和６年度の出動理由（病気や災害などの傾向）、出動回数、令和６年度・５年度の出動回数の比較を伺う。
（２）救急車を呼んでから病院に収容される救急搬送時間の平均と傾向を伺う。
（３）新城市民病院の救急医療で処置できない疾病があれば、その病名や症状を伺う。

３　自衛隊への個人情報提供について

２０２２年度に自衛官募集のために、若者の個人情報を記載した名簿を自衛隊に提供した自治体が１０６８に上り、初めて６割を超えたことが分かった。２０２４年版の防衛白書によると、２０２３年度の応募者数は前年に比べて１万人以上も減少し、過去１２年間で初めて７万人を割った。市民の個人情報を守る立場から、以下、伺う。

（１）本市の自衛隊への個人情報提供の現状について伺う。
（２）国は２０２２年、自衛隊への個人情報の提供は「特段の問題を生ずるものではない」との立場である。新城市が、現在、自衛隊へ個人情報を提供していること、ならびに、個人情報の提供を望まない市民のために「除外申請制度」を設けていることを広く周知するべきだと考え、市の認識を伺う。

４　災害時避難所の学校体育館への空調設置の必要性と学校給食費の値上げについて

（１）昨今の異常気象による自然災害や地震の発生で、学校の体育館が避難所となるケースが増えている。また田原市、豊橋市、蒲郡市など避難所の適切な運営のために学校の体育館に空調を設置する自治体も増えている。新城市の小学校の体育館にも空調を設置すべきだと考えるが、災害時に避難所として使用される小中学校体育館に空調施設がないが、夏場の高温環境、冬場の低温環境における避難者の健康や安全をどの様に対応するのか伺う。
（２）今年９月から学校給食センター化による給食の一括調理と各学校への配送事業がスタートする。これまでの自校方式のもとでの給食費と比較し、センター化によって給食費が実質値上げとなった学校の有無と給食費の現状と課題を伺う。

５　新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の悪臭対策について

今年５月、当該施設から基準値超の悪臭が発生した（工場の稼働後、計１２回にのぼる）。私は、毎議会、悪臭対策の質問を行っているが、市・愛知県の対策や指導が効果をあげているように思えない。６月議会で明らかとなった当該施設の故障部分や壁のサビ・ヒビなどの修繕は終わったのか、市の認識を伺う。

13（1/1）

受付
6-8.29
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和６年８月２９日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	６０分	受 付	8 月29 日　午前／午後 9 時19 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　日本版ＤＢＳ導入について

本年６月１９日、子どもに接する仕事に就く人に、性犯罪歴がないか確認する制度「日本版ＤＢＳ」を導入するための法律（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）が成立した。子どもに接する仕事に就く人に性犯罪歴がないかを、事業者がこども家庭庁を通じて法務省に照会できるようにするとのこと。

２０２６年度の施行を目途に、具体的な規定や確認対象の範囲等、制度の実効性を高めるためのガイドラインの制定を行っているが、現時点での課題・問題点、制度についての見解を伺う。

2　Ｌｉｖｅ１１９について

Ｌｉｖｅ１１９は、通報者が言葉では伝えることが難しい状況を指令管制員が映像で確認できるため、早期に火災や交通事故などの災害状況の正確な把握や、災害発生場所の特定をすることができ、災害状況に応じた迅速・的確な消防活動につなげることができるシステムである。指令管制員は、送られてきた映像を見ながら応急手当の方法を指導、また応急手当のやり方が分かる動画を通報者に送信することができる。本市を含む東三河消防指令センターでの導入に向けての取組について伺う。

3　医師の働き方改革について

本年４月から施行された改正医療法では、医師の残業は基本的に９６０時間、特例で年１，８６０時間まで許可される。医療機関は、労働時間の把握やタスクシェアリング、ＩＣＴ導入などを進めて医師の労働環境を整備する必要があるが、市民病院における現状と対応、さらに医師確保のためにも労働環境改善及び新設移転を見据えた施設整備の取組について伺う。

14(1/2)

受付
6-8.29
新城市議会
事務局

発 言 通 告 書

令和　6年　8月29日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　今　泉　吉　孝

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60　分	受 付	8月29日 (午前)/午後 9時25分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		
発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。） 発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）			

1　市民の経済状況について
（1）直近の生活保護受給者の状況と今後の対応策は。
（2）高齢者の経済状況と今後の対応策は。
（3）直近の子どもの貧困状況と今後の対応策は。

2　給食費について
この9月から新城市学校給食センターが稼働したが、以前、下江市長はこの新城市学校給食センターが完成したら給食費の無償化に向けてまずは公金化するということであった。そこで以下伺う。
（1）公金化の状況は。
（2）給食費の未払いの状況は。
（3）今後の課題と対応策は。

3　小中学校におけるエアコンの設置について
（1）小中学校における特別教室のエアコンの設置状況は。
（2）今後の課題と対応策は。

4　手話言語条例について
3月定例会において「可能であれば令和6年度中の制定ということで進めていきたい」とのことであったが、その後の進捗状況は。

5　現在、行政区長に配布されている災害時要援護者名簿について
行政区長に配布されている災害時要援護者名簿について以下伺う。
（1）この名簿の取り扱いはどのようになっているのか。

14（2/2）

（2）名簿の情報は区長がどのように活用できるのか。

6　千郷地区で行われた「ちさと納涼夏祭り。」について

本年7月20日、千郷小学校においてチームちさと主催で開催された『ちさと納涼夏祭り。』は、来場者が約3，700人ということで、大好評のうちに終了した。初めてのイベントで、開催がたった1日の夕方4時から9時までという短い時間にもかかわらず、来場者からは次回の開催を要望する声も多かったが、市内各地域においてもこのような集客できるイベントを行うことはできるのか。

7　庁舎内に流されているBGMについて

現在の進捗状況は。

15(1/1)

受付
6-8.29
新城市議会事務局

発　言　通　告　書

令和６年８月２９日

新城市議会議長　様

新城市議会議員　　齊藤　竜也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	６０分	受 付	8月29日　午前／午後 9時49分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論　（該当に○印を記入）		

発言事項（一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。）
発言要旨（一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。）

1　市長マニフェストの取組状況と進捗について

６月の議会定例報告会にて市長マニフェスト取組状況報告書が提示され、下江市長の今日までの市政運営の具体的な取組が発表され、その自己評価の状況が確認できた。マニフェストの遂行は市長としての責任であると同時に我々議会でもその評価は分かれやすいものであり、市民にとっても同様であるため、改めてその内容について確認周知を行い、これからの市政への理解や修正が必要と考えるポイントを見える化させていくため、以下、それぞれの簡単な内容、評価、今後の取組を伺う。

（１）目標１提案７「デジタル化を推進します」
（２）目標２提案２「健康体操など健康づくり活動を支援します」
（３）目標２提案３「市民病院の診療体制の維持と充実をはかります」
（４）目標２提案４「住民の健康管理・遠隔診療・リハビリ等の取り組みを定着させます」
（５）目標３提案２「集中豪雨による洪水害予防の対策を強化します」
（６）目標４提案１「小中学校の少人数学級を進めます」
（７）目標５提案１「林業従事者の定着促進と育成に取り組みます」
（８）目標５提案２「新たな高収益作物の生産に向けた研究をします」